

2023年1月4日

九州から日本を動かす! Move Japan forward from 九州! (166)

明けましておめでとうございます。

年末年始は皆さんも少しゆっくりと過ごすことが出来たことを期待します。病院、学校、工場他職場での感染拡大リスクが高い所では非常にご苦勞されていると思います。飯塚病院のスタッフの皆さんの奮戦に心から敬意を表します。そして皆さんに、新型コロナウイルス感染症への警戒の継続を改めてお願いします。

私は与えられているこの人生に感謝し、ライフワークである H2E の成果を出すことに時間をかけていますが、今の状態では道半ばですので、大きな動きになるように今年はまた動きを変えて実績づくりに努めます。

皆さんも三年後、そして五年後の自分がどういう人間になっているのか、少々高い目標を立て、生涯学習・生涯現役、そして生涯収入を目指して下さい。育ててくれた両親を喜ばせることができるような生き方と成果を出し、地域・国家、そして次世代に役立つように生きましょう。

こうしたことをじっくりと考え、行動プランや三年間、五年間の努力目標を立てるために一番良い機会が一月スタートだと思います。明るく、役立つ、活動と成果を出しましょう。

私の社長時代には経営方針をよく書いていました。「社会システム変革への貢献」「積極性ある社員とお客様への満足」「日本一のまごころ病院」「独自路線で生きる」「challenge the status quo, leading the changes」という目標の標語等も作りました。麻生の社員に足りないもの、身につけてもらいたいもの、そして私たちが意識を持ってもらいたいものを書きました。

私は以前、麻生グループの特徴の一つとして、積極性の不足、お客様の香りがしない企業体という問題点を感じていました。課題と目標を発信したところ、かなり変わりました。明るさ、積極性は出ています。

ただし、日本経済全体に対しての成果はまだまだです。危機感無くジリ貧、失われた30年という表現をされるように、世界経済での地位は一気に下がっている中での「challenge the status quo」すなわち、現状維持を打破しようという思いを叫び続けています。

飯塚病院が日本の病院で初めてデミング賞を受賞したことは昨年度の実に大きなニュースです。

高齢者先進国の日本。筑豊は国内でも高齢者人口が多い地域です。即ち、世界の高齢者社会の先進地です。健康診断を強化して早期発見・早期治療で健康寿命を伸ばし、救急対応は強く、そして地域全体での医療ネットワークが整備され、住民が「住み続けたい街づくり」を形成していきたいものです。

皆さんもいただいている多くの恵みに感謝し、積極性ある人生の日々を送るという、幸せなテーマをしっかりと作って今年をスタートして下さい。私も明るく、元気にスタートします。

以上